

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ハピネス吉根

## 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 10 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |                                    |  |            |
|----------|------|--|------------------------------------|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題                             | 目標                                 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 1    | 職員不足や天候の事情もあり外出の機会が減少している。               | 季節を感じさせられるような外出や、希望の場所への外出の回数を増やす。 | ①天気の良い日は、5分程度でも近所の散歩などを行なう。  | 6ヶ月        |
| 2        |      |  |                                    | ②月1程度に外出を増やす。  | 6ヶ月        |
| 3        |      |  |                                    | ③十分な職員の確保を行なう。   | 12ヶ月       |
| 4        | 11   | 日勤帯と夜勤帯のスタッフを分けて雇用しており、スタッフ同士の連携や交流が難しい。 | より良い連携が持てるような方法を見つける。              | ①勤務時間帯が大きく違い、生活の状況も違うため、まめに交流することは困難である。申し送りノートや年1程度の交流会などでの交流を模索する。 | 12ヶ月       |
| 5        |      |  |                                    | ②遅出から夜勤、早出はスタッフの申し送り時間があるため、そこでの内容を他スタッフへもわかりやすく伝える。                 | 6ヶ月        |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。